

令和6年度(2024年度)
第2回 熊本県渋滞解消推進本部会議

次 第

日時: 令和7年3月14日(金)
16:00~16:50
場所: 知事応接室

1 開会

2 本部長(木村知事) 挨拶

3 議題

○これまでの振り返り

資料

○現在の進捗報告及び今後の取組み

//

○都市圏渋滞対策

//

4 意見交換

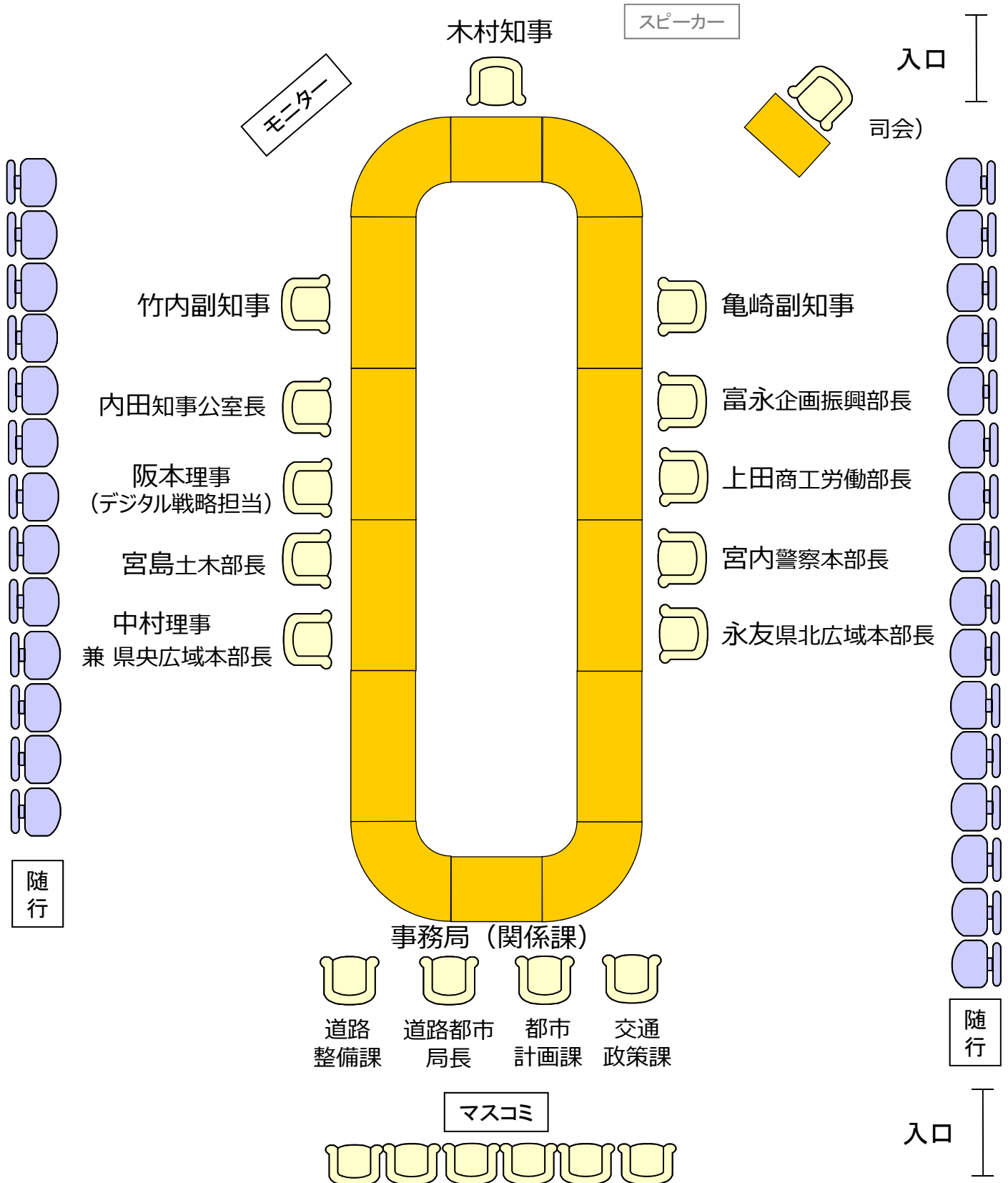
5 閉会

令和6年度（2024年度） 第2回「熊本県渋滞解消」推進本部会議 配席図

日時：令和7年3月14日(金)

16:00～16:50

場所：県庁本館5階 知事応接室



令和6年度(2024年度)

第2回 熊本県渋滞解消推進本部会議

令和7年(2025年)3月14日

熊本県渋滞解消推進本部会議(第2回)

【目次】

(1) これまでの振り返り

- ・第1回推進本部会議 p.2
- ・都市圏の周辺自治体とのトップ会談 p.3～5
- ・国や関係機関との連携 p.6

(2) 現在の進捗報告及び今後の取組み

- ・車の『流れ』を良くする取組み p.7～16
- ・車から公共交通への『転換』を促す取組み p.17～20
- ・ピーク時の交通を『分散』する取組み p.21～23

(3) 都市圏渋滞対策

- ・周辺自治体を含めた都市圏の渋滞解消に向けた取組み p.24～25

- (参考資料) p.26～29

(1) これまでの振り返り

➤ 第1回渋滞解消推進本部会議

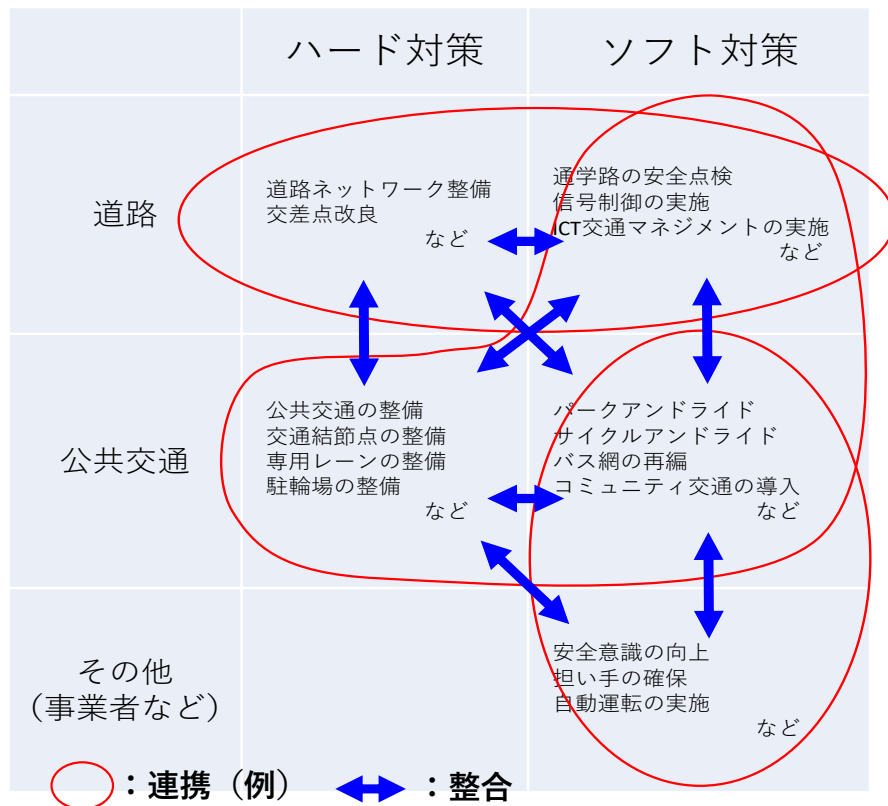
熊本県渋滞解消推進本部会議(第1回) - 令和6年6月5日 -

- ・渋滞解消に向けた取組みを組織横断的に迅速かつ強力に進めていく。
- ・都市圏の各市町や民間企業などとの連携の重要性が明らかになった。都市圏の各市町とのトップ会談を実施していく。
- ・渋滞解消に向けた取組みを加速していくために、短期・中期・長期のソフト、ハード対策を効率的かつ段階的に進めていく。
- ・熊本都市圏における渋滞対策の着実な実施を確認するとともに、各施策の連携や前倒し、新たな対策などの実施方針を明らかにし、わかりやすく情報発信していく。

[短期・中期・長期の取組み]

短期	信号制御の高度化等のソフト対策や右折レーン左折レーン等の延伸・設置など渋滞緩和に即効性のあるハード対策など(既設ストックの有効活用)
中期	都市計画道路等の整備・公共交通ネットワークの形成(空港アクセス鉄道の整備、JR豊肥本線の機能強化等)など
長期	熊本都市圏3連絡道路等の新たな道路ネットワーク整備(10分・20分構想)
その他	パークアンドライドの実施、通勤バスの利用などの啓発(継続して行う取組み)

[交通施策の整合・連携イメージ]



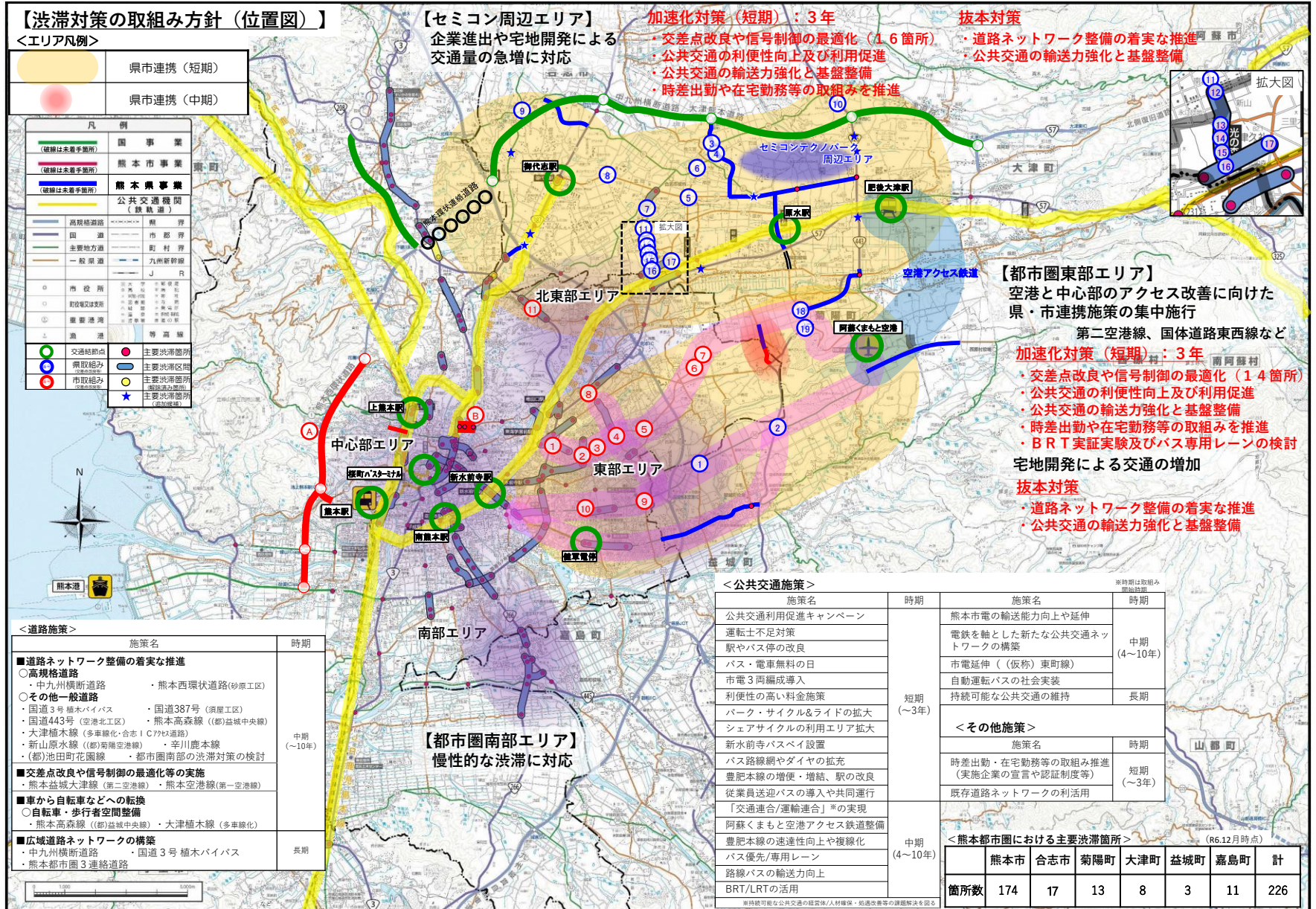
(1) これまでの振り返り

➤ 都市圏の周辺自治体とのトップ会談

熊本市トップ会談 (令和6年7月18日)	■<u>県市の合意事項</u> <ul style="list-style-type: none">・都市圏渋滞における課題や取組みの方向性について意見交換を実施。・県市が共通の目標のもと、国とも連携しながら、渋滞解消に取り組んでいくことを確認。・「自動車1割削減、渋滞半減、公共交通2倍」のキーワードを共有。
熊本県・熊本市調整会議(第1回) (令和6年8月19日)	■<u>県市の合意事項</u> <ul style="list-style-type: none">・熊本市東部・北東部エリアをターゲットに、交差点改良や公共交通への利用促進に向けた取組みを実施し、年内を目標に、短期対策の具体箇所、近隣自治体を含めた渋滞対策の方向性等を示す。・9月2日から30日まで、県・市合同で時差出勤等の取組みを推進する。
嘉島町トップ会談 (令和6年9月11日)	■<u>町意見</u> <ul style="list-style-type: none">・町西側の公共交通が脆弱・幹線道路の混雑・幹線道路から町道への通り抜け交通が多い・道路ネットワークが脆弱
菊陽町トップ会談 (令和6年9月11日)	■<u>町意見</u> <ul style="list-style-type: none">・幹線道路の混雑・主要な交差点の混雑・通勤バス等の定時性確保・JR豊肥線の機能強化
合志市トップ会談 (令和6年10月3日)	■<u>市意見</u> <ul style="list-style-type: none">・幹線道路の混雑・交通規制による渋滞対策・公共交通への利用転換・熊本電鉄の機能強化
大津町トップ会談 (令和6年10月9日)	■<u>町意見</u> <ul style="list-style-type: none">・幹線道路の混雑・主要な交差点の混雑・アクセス鉄道の整備を踏まえた道路整備の検討・JR豊肥線の機能強化
益城町トップ会談 (令和6年10月9日)	■<u>町意見</u> <ul style="list-style-type: none">・幹線道路の混雑・主要な交差点の混雑・空港へのアクセス改善・企業や宅地開発による交通量の増加への懸念
熊本県・熊本市調整会議(第2回) (令和6年12月26日)	■<u>県市の合意事項</u> 以下の目標を共有 <ul style="list-style-type: none">・3年以内に30カ所の交差点改良等を実施、10年以内に主要渋滞箇所80箇所の改善に向け取組みを実施・1年以内にオール熊本で時差出勤を推進 ～1万人のオフピーク通勤～・10年以内にすべての移動手段のうち公共交通が占める割合(公共交通分担率)を2倍にする

(1) これまでの振り返り

都市圏の周辺自治体とのトップ会談(12/26熊本県・熊本市調整会議公表)



(1) これまでの振り返り

➤ 都市圏の周辺自治体とのトップ会談

県市で取り組む**道路施策**

～車の『**流れ**』を良くする取組み～

加速化対策(短期): ~3年

交差点改良や信号制御の最適化 30箇所

市内)主要渋滞箇所 8か所及びその周辺3か所 < 8/174(約 5%) >
市外)主要渋滞箇所 16か所及びその周辺3か所 < 16/ 52(約30%) >

■ 交差点改良や信号制御の最適化等の実施

<都市圏東部エリア> 14箇所: 熊本益城大津線 など
<セミコン周辺エリア> 16箇所: 大津植木線 など

■ バスペイの整備による交通の円滑化

・熊本菊陽線など(10箇所)

■ 道路ネットワーク整備の着実な推進

・セミコンテクノパーク周辺道路、熊本西環状道路(池上工区)、
熊本高森線((都)益城中央線)、大津植木線(辻久保工区)など

抜本対策(中期): 4~10年

主要渋滞箇所226箇所のうち約80箇所の改善に向け
取組みを強力に推進

■ 道路ネットワーク整備の着実な推進

・セミコンテクノパーク周辺道路、中九州横断道路、
国道3号植木バイパス、熊本西環状道路(砂原工区)など

■ 交差点改良や信号制御の最適化等の実施

・熊本空港線 他

■ 車から自転車などへの転換

・自転車・歩行者空間の整備

抜本対策(長期): 11年~

広域道路ネットワークの構築

・熊本都市圏3連絡道路
・中九州横断道路、国道3号植木バイパスなど

県市で取り組む**公共交通施策**

～車から公共交通への『**転換**』を促す取組み～

加速化対策(短期): ~3年

年間利用者数

路線バス)・現状(2023年) 2,449万人/年→目標(2027年) 3,000万人/年
市電)・現状(2023年) 1,009万人/年→目標(2027年) 1,170万人/年

■ 公共交通の利便性向上及び利用促進

・利用促進キャンペーン、運転士不足対策 など

■ 公共交通の輸送力強化と基盤整備

・豊肥本線の増便・増結や駅施設の改良整備 など

抜本対策(中期): 4~10年

公共交通分担率を2倍にする

■ 公共交通の輸送力強化と基盤整備

・「交通連合」の実現、空港アクセス鉄道整備など

抜本対策(長期)

持続可能な公共交通の維持

県市で取り組む**その他施策**

～ピーク時の交通を『**分散**』する取組み～

加速化対策(短期): ~3年

・1年以内に1万人規模の取組み ・時差出勤等に取り組む企業200社

■ 集中する“時間”の分散

・官公庁や民間企業の時差出勤・在宅勤務を推進
※実施企業の宣言や認定制度等

■ 集中する“場所”の分散

・既存道路ネットワークの利活用



(1) これまでの振り返り

➤ 国や関係機関との連携

■ 熊本県交通渋滞対策協議会

【目的】

- ・熊本県内における交通渋滞状況を把握し、渋滞解消を図るべく、総合的な渋滞対策を実施

【役割】

- ・渋滞対策の効果が十分発揮できるような整備方針の調整
- ・事業の実施期間の調整、各機関との事業調整

【構成員】

- ・国、県、熊本市、西日本高速道路(株)、警察、バス協会、トラック協会、タクシー協会 等



令和6年度(第1回)熊本県交通渋滞対策協議会(令和6年9月10日)

〈会議概要〉

- 主要渋滞箇所選定以降、新たに混雑が発生していると思われる交差点を対象に、データ分析や現況調査により評価する手法について、検討していく。
- 熊本県渋滞解消推進本部の取り組みや、熊本県及び熊本市での時差出勤の取り組みについて報告を行い、交通渋滞対策協議会とも連携しながら進めていくことを確認。

令和6年度(第2回)熊本県交通渋滞対策協議会(令和6年12月16日)

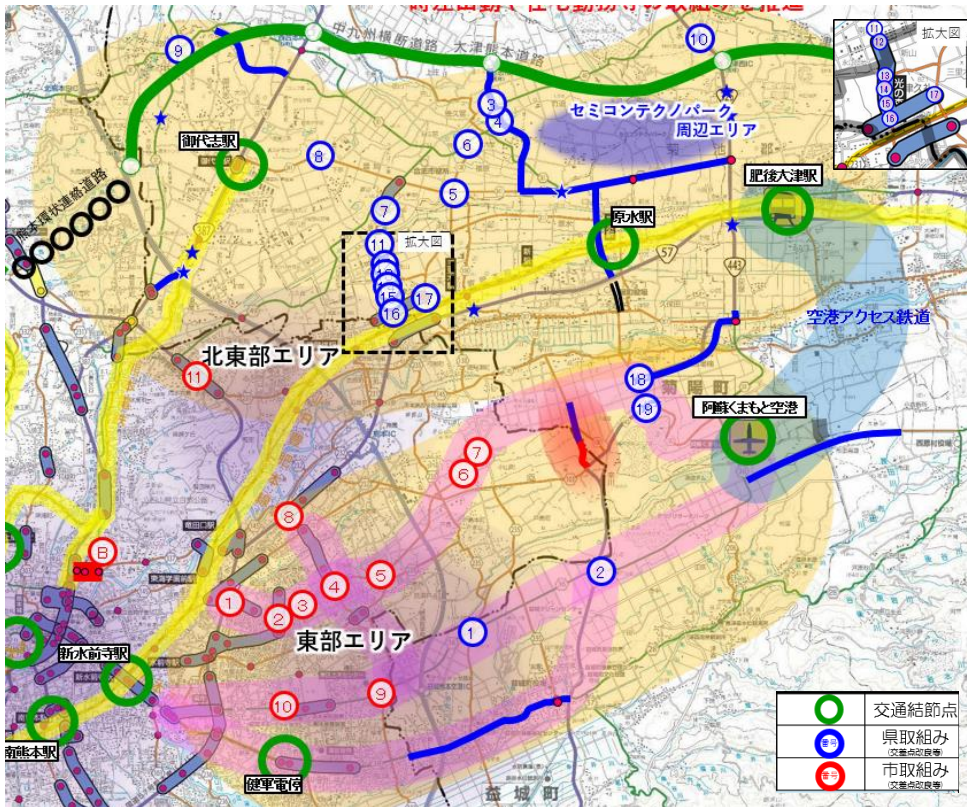
〈会議概要〉

- 新たな混雑発生交差点の評価検討について、主要渋滞箇所の追加フロー(案)が承認された。
- 熊本都市圏エリアワーキングで議論し抽出した主要渋滞箇所追加候補17箇所のうち、12箇所について、主要渋滞箇所への追加が承認された。(合志市5箇所、菊陽町3箇所、大津町4箇所)

(2) 現在の進捗報告及び今後の取組み

➤ 車の『流れ』を良くする取組み(短期) ～交差点改良や信号制御の最適化等の実施～

- 短期対策19箇所において改良計画の具体化に向け測量設計や用地調査などに着手。
- うち4箇所については、対策方針を決定。残る箇所についても対策方針の詳細な検討を進めていく。



短期対策箇所位置図

No.	市町	取組箇所	対策
①	益城町	安永交差点	右折レーンの増設
②	益城町	平田交差点	右折レーンの増設
③	合志市	仮) 竹迫北交差点	右折レーン延伸
④	合志市	仮) 竹迫交差点	右折レーン延伸
⑤	合志市	福原交差点	対策方針を検討中
⑥	合志市	福原北交差点	
⑦	合志市	合志工業団地入口交差点	
⑧	合志市	豊岡交差点	
⑨	合志市	野々島交差点	
⑩	大津町	護川小学校入口交差点	
⑪	合志市	仮) 合志北口交差点	
⑫	合志市	幾久富南交差点	
⑬	菊陽町	新山2丁目	
⑭	菊陽町	仮) 菊陽町光の森7丁目北	
⑮	菊陽町	仮) 菊陽町光の森7丁目東	
⑯	菊陽町	仮) 菊陽町光の森7丁目南	
⑰	菊陽町	仮) 菊陽町光の森7丁目	
⑱	菊陽町	菊陽町曲手	
⑲	菊陽町	空港入口	

太文字は、主要渋滞箇所

(2) 現在の進捗報告及び今後の取組み

➤ 車の『流れ』を良くする取組み(短期) ～交差点改良や信号制御の最適化等の実施～

- 交差点③④は、関係機関協議が完了。令和7年度の早期に工事着手し、年度内に完了予定。
- 交差点①②は、工事着手に向け、測量設計及び関係機関協議を実施中。
- 交差点15箇所(⑤～⑱)についても、対策方針に応じ、下記スケジュール(パターン1～3)を目安に早期完了に向け取り組んでいく。

【交差点4箇所(①～④)】 (実施スケジュール)	R6年度	R7年度				R8年度				R9年度				
		第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	
【③仮】竹迫北交差点 右折レーンの延伸	測量設計	工事				効果検証								
【④仮】竹迫交差点 右折レーンの延伸	測量設計	工事				効果検証								
【①安永交差点】 右折レーンの増設 (1車線→2車線)	測量設計 (関係機関協議含む)					工事				効果検証				
【②平田交差点】 右折レーンの増設 (1車線→2車線)	測量設計 (関係機関協議・用地買収検討)					用地買収 ※必要に応じて				工事				効果検証

*現時点のスケジュールのため進捗状況により変更の可能性あり。

【交差点15箇所(⑤～⑱)】(対策方針に応じた実施スケジュール目安)

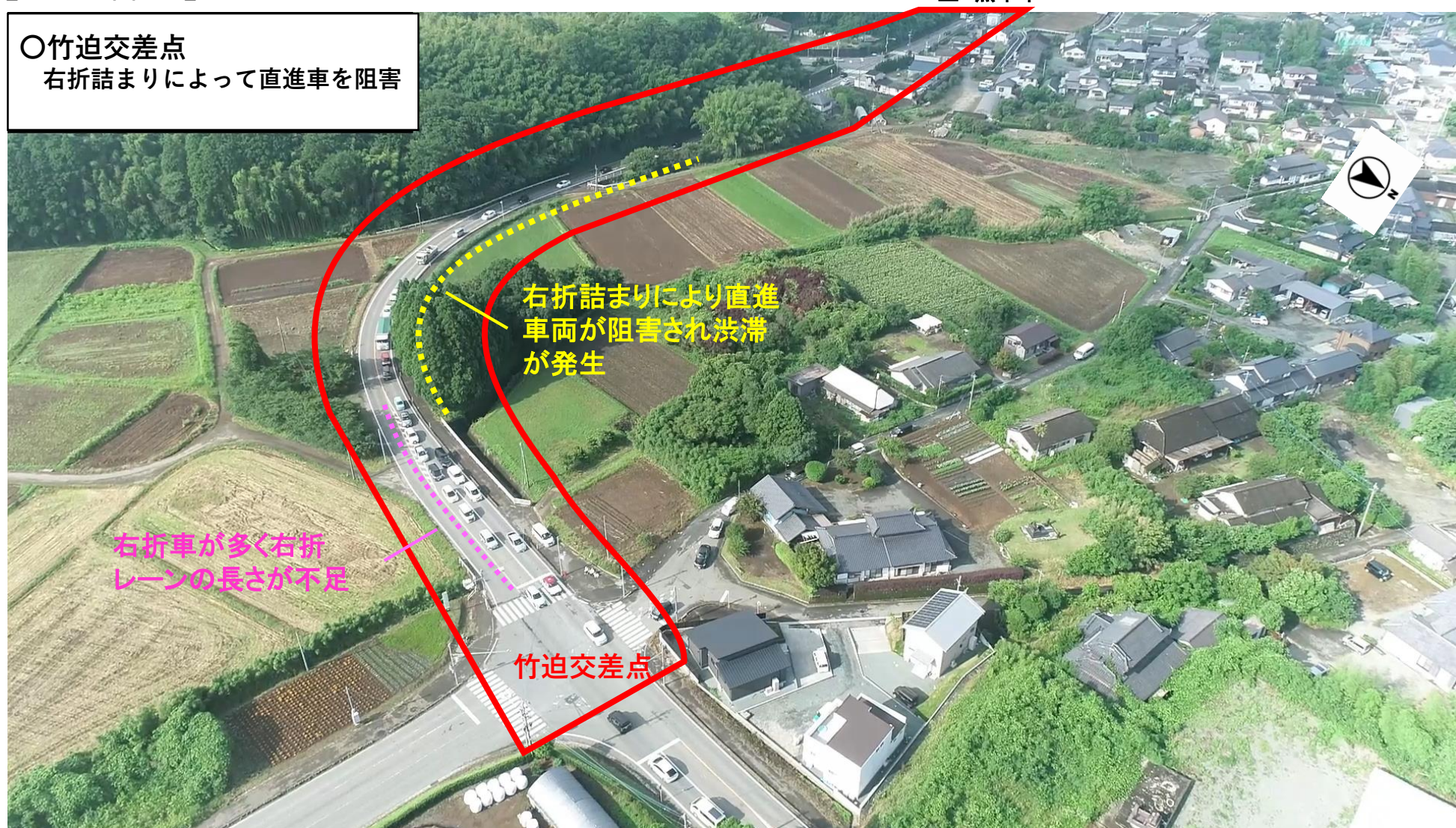
【パターン1】 右折レーンの延伸 停止線の前出し等	用地調査	測量設計 (関係機関協議含む)	工事				効果検証				
【パターン2】 右左折レーンの設置等	用地調査	測量設計 (関係機関協議含む)	工事				効果検証				
【パターン3】(用地買収あり) 右左折レーンの設置等	用地調査	測量設計 (関係機関協議含む)	用地買収				工事				効果検証

(2) 現在の進捗報告及び今後の取組み

➤ 車の『流れ』を良くする取組み(短期) ～交差点改良や信号制御の最適化等の実施～

【現状・課題】

○竹迫交差点
右折詰まりによって直進車を阻害



右折詰まりにより直進
車両が阻害され渋滞
が発生

右折車が多く右折
レーンの長さが不足

竹迫交差点

至 熊本市

至 セミコンテクノパーク

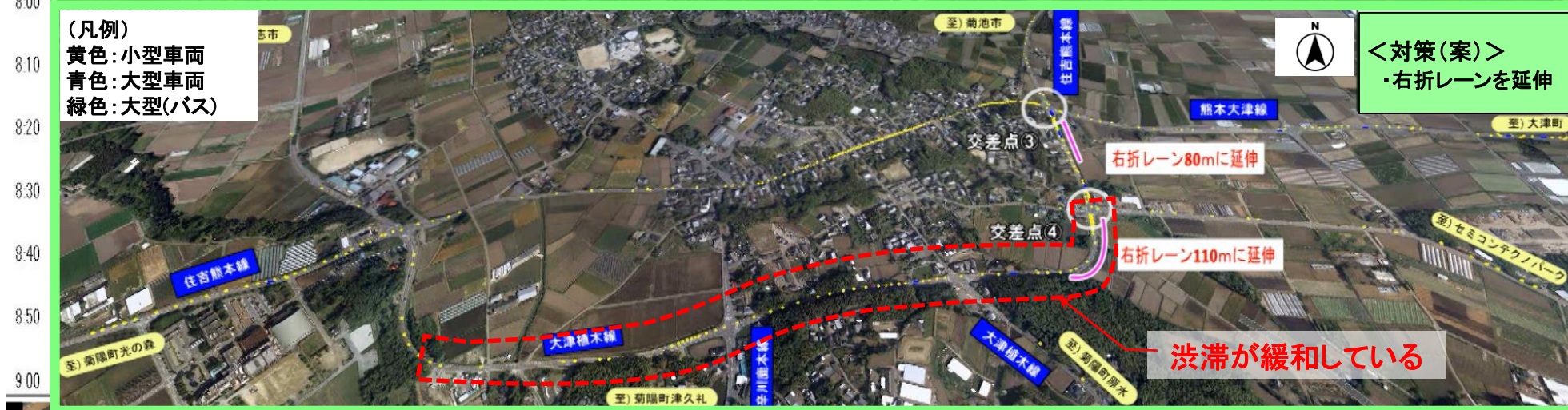
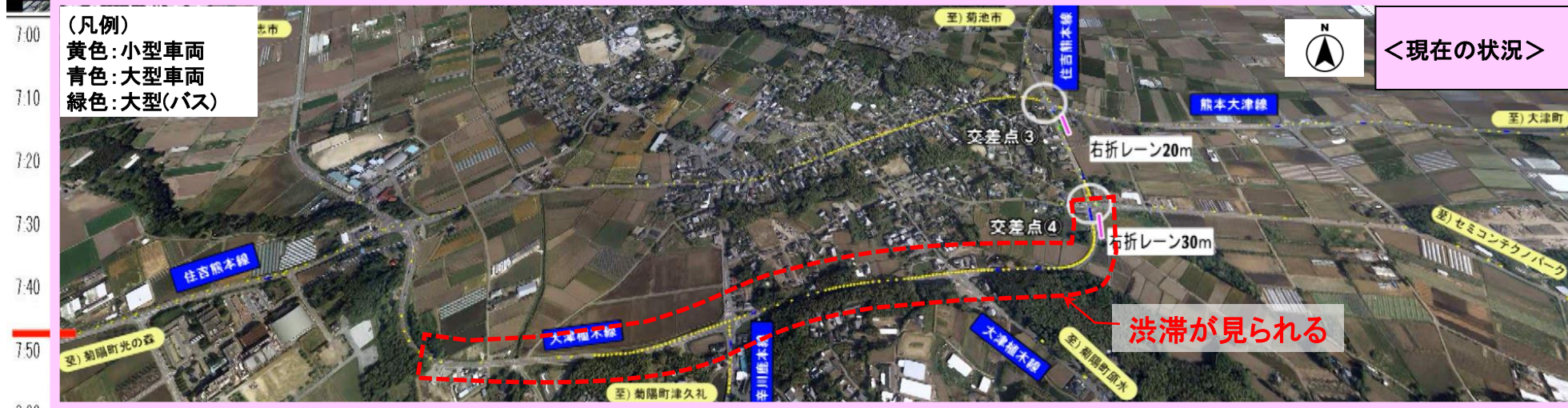
至 菊池市

(2) 現在の進捗報告及び今後の取組み

➤ 車の『流れ』を良くする取組み(短期) ~交差点改良や信号制御の最適化等の実施~

【取組みの概要】

短期対策シミュレーション (③竹迫北交差点、④竹迫交差点) 朝ピーク 7時00分~9時00分 (10倍速)



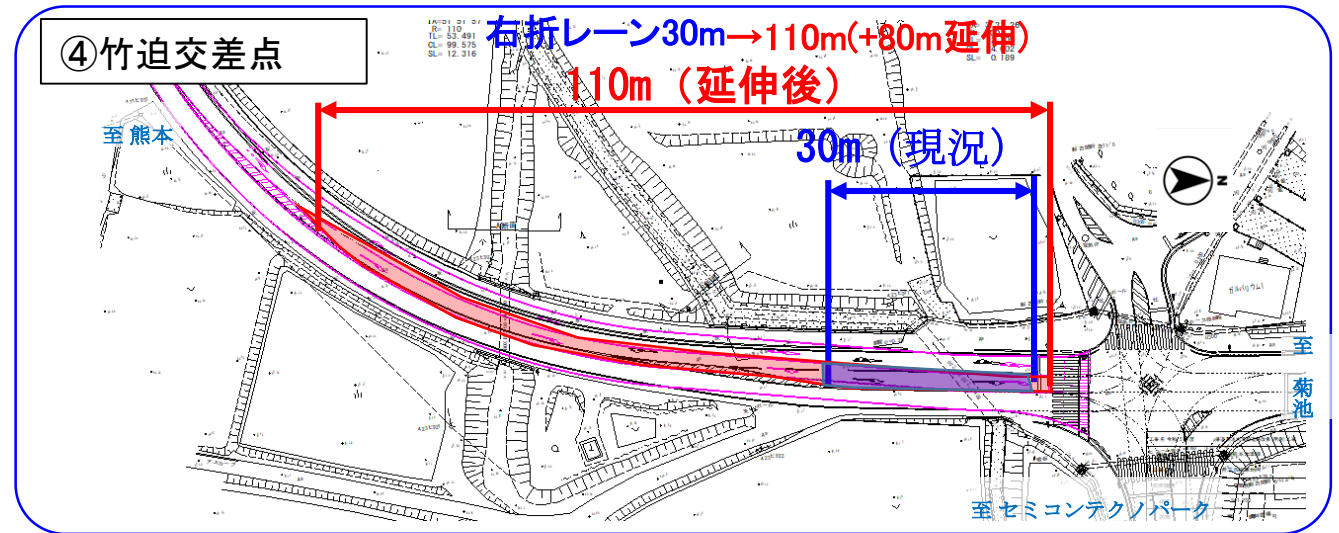
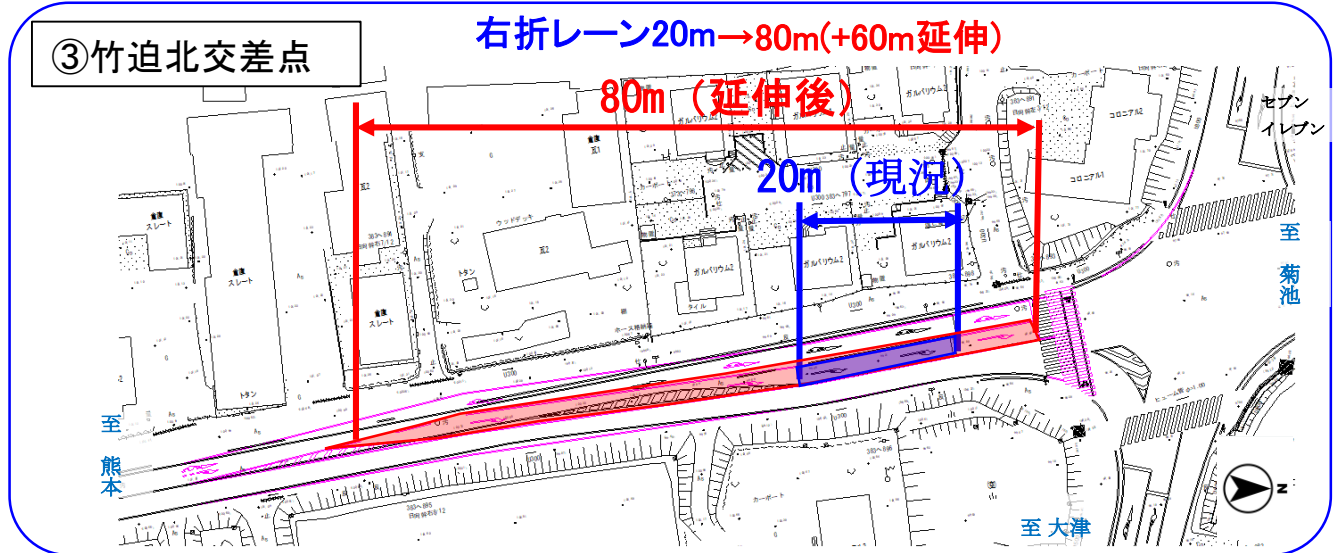
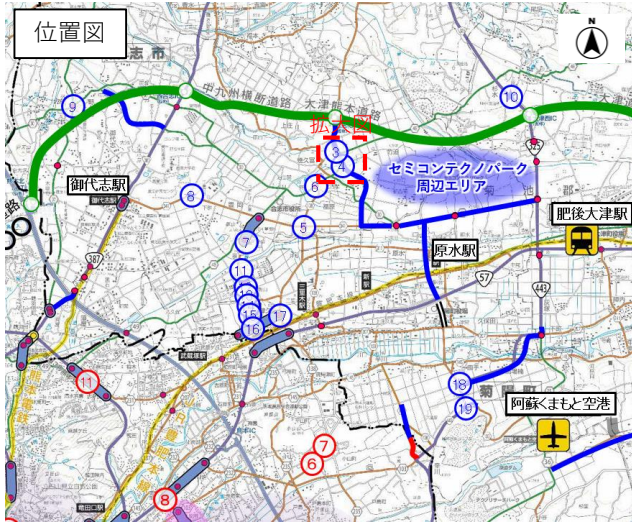
※右折レーン延伸のみを実施した場合のシミュレーション 10

(2) 現在の進捗報告及び今後の取組み

➤ 車の『流れ』を良くする取組み(短期) ~交差点改良や信号制御の最適化等の実施~

【工事内容】

○竹迫北交差点、竹迫交差点については、令和7年度に右折レーンの延伸工事を実施。



(2) 現在の進捗報告及び今後の取組み

➤ 車の『流れ』を良くする取組み(短期) ~交差点改良や信号制御の最適化等の実施~

<セミコンテクノパーク周辺における信号制御の最適化>



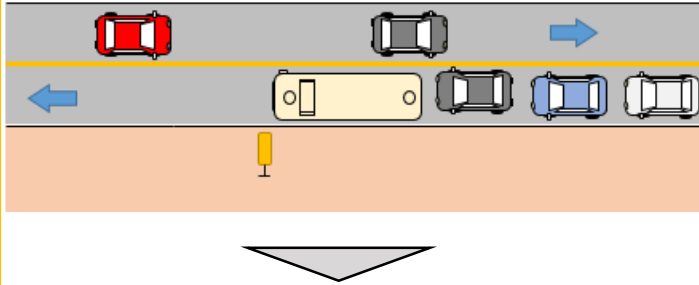
(2) 現在の進捗報告及び今後の取組み

➤ 車の『流れ』を良くする取組み(短期) ～バスベイの整備による交通の円滑化～

〈現状と課題〉

- ・バスベイが設置されていない停留所では、バスが停留所に停車する際、車線を閉塞し、後続車両の進行を阻害するなど、交通流の円滑性を損なう一因となっている。

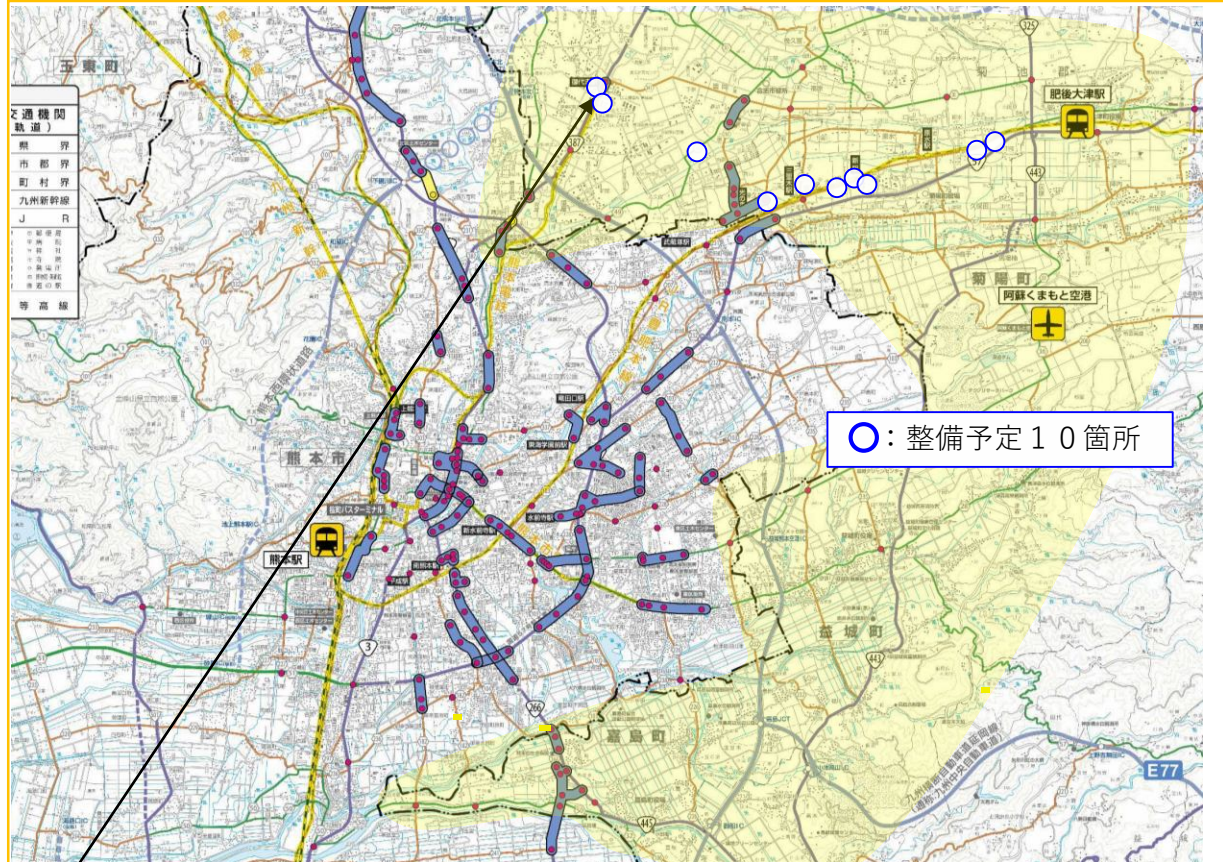
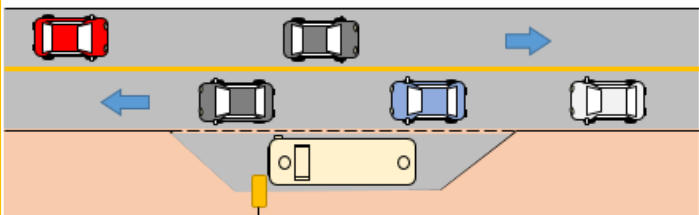
〈現状:バスベイなし〉



〈取組み概要〉

- ・バスベイ設置により、後続車の追い越しを容易にし、通過交通に対するバスの影響を低減させることが期待できる。

〈バスベイ設置後〉



○: 整備予定10箇所

代表例 路線名・場所：国道387号・再春医療センター前バス停



施工前



施工中

(2) 現在の進捗報告及び今後の取組み

➤ 車の『流れ』を良くする取組み(中期) ～道路ネットワーク整備の着実な推進～

〈箇所図〉 道路施策(中期) セミコンテクノパーク周辺道路整備

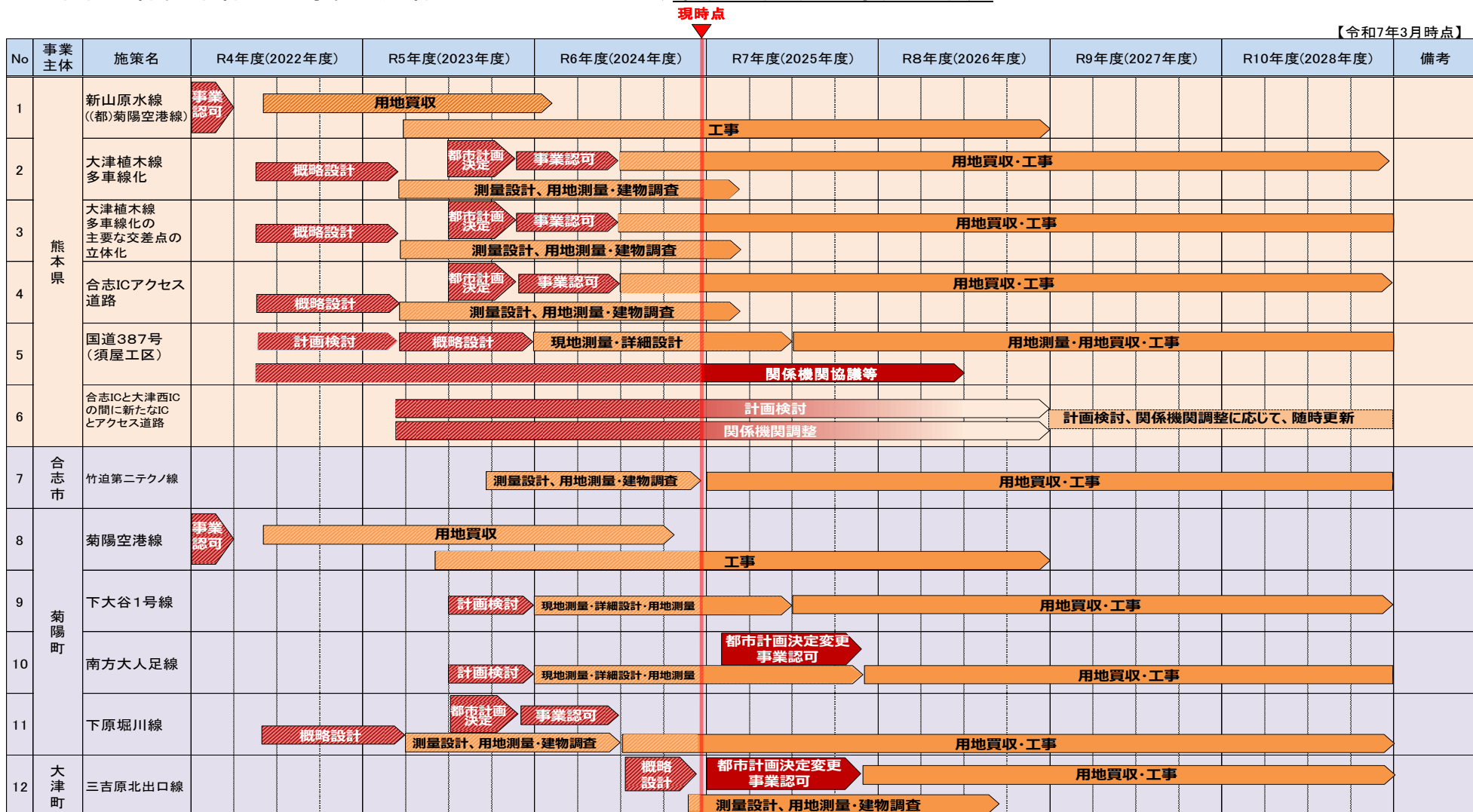


(2) 現在の進捗報告及び今後の取組み

➤ 車の『流れ』を良くする取組み(中期) ～道路ネットワーク整備の着実な推進～

〈取組み概要〉 セミコンテクノパーク周辺道路整備

- ・地域産業構造転換インフラ整備推進交付金(道路事業) 令和6年度補正予算 県事業 約55億円 市町事業 約24億円
- ・大津植木線多車線化と菊陽空港線の交差点において、令和7年3月工事発注予定



(2) 現在の進捗報告及び今後の取組み

➤ 車の『流れ』を良くする取組み

■ 短・中期施策 ～道路ネットワーク整備の着実な推進～

○熊本西環状道路(池上工区): 令和7年秋頃の供用予定 < **熊本市** >

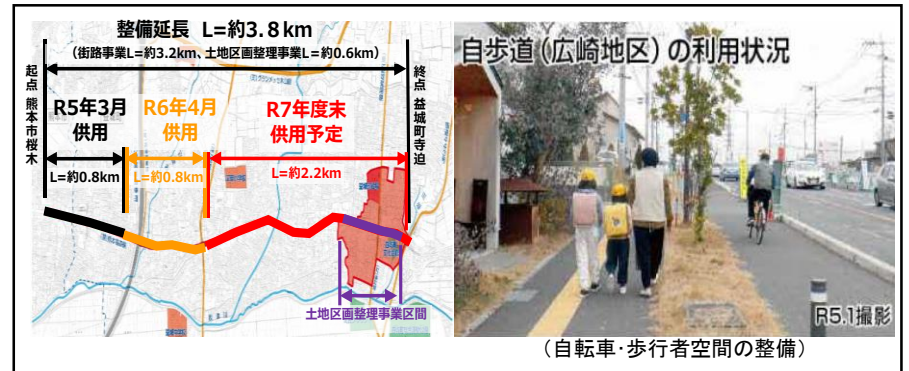
○熊本高森線((都)益城中央線): 令和7年度供用予定 < **熊本県** >

○大津植木線(辻久保工区): 令和7年度供用予定 < **熊本県** >

○中九州横断道路、国道3号植木バイパス、熊本西環状道路(砂原工区)の整備を推進 < **国・熊本市** >



熊本西環状道路の状況【熊本市】



熊本高森線(都)益城中央線の状況【熊本県】

■ 長期施策 ～広域道路ネットワークの構築～

○熊本都市圏3連絡道路

⇒ルート帯や主な道路構造など概略計画の決定に向け、有識者委員会を設置して
住民参加型の道路計画検討を実施中

⇒早期実現に向け大西熊本市長と国土交通省に要望活動を実施

○中九州横断道路、国道3号植木バイパスの整備を推進 < **国** >



(2) 現在の進捗報告及び今後の取組み

➤ 車から公共交通への『転換』を促す取組み(短期) ～公共交通の利便性向上及び利用促進～

〈現状・課題〉

・熊本都市圏交通渋滞の一因である過度な自動車利用

〈取組み概要〉

・公共交通利用へ県民の行動変容を促すため、利用促進に繋がるプロモーションの実施やシンポジウムを開催

① プロモーション

公共交通の利用促進に繋がる広告を作成し、社会人や高齢者等、ターゲットを分けてプロモーションを実施

(プロモーション媒体)

テレビ、ラジオ、街頭ビジョン、特設ページ、バスステッカー、コンビニ広告 等

【参考】バス後方ステッカー



← 2月12日(水)

本キャンペーンでの公共交通の利用体験を踏まえた大学生との意見交換を実施

② シンポジウム

「みんなで乗ってみんなで支える」くまもと公共交通新時代シンポジウム
- 12月26日(木) @くまもと県民交流館パレア(参加者約200名)

「車1割削減・渋滞半減・公共交通2倍」の実現に向け、先行事例や研究データ、事業者の取組みを踏まえ、専門家と「住みよい熊本」を考える

【内容】

- 1) 「公共交通を軸としたコンパクトなまちづくり」の先進地域である富山市 森前市長による基調講演
- 2) 交通事業者等が実施している公共交通の利用促進に資する取組みを発信するパネルディスカッション



③ 利用促進に対する取組みへの支援

・交通事業者等が実施する**公共交通利用促進の事業※**に**対し支援**(セミコンテクパーク周辺の渋滞緩和に資するもの)

※例) 利用促進広報(ポスター作成等)、路線バスWi-Fi導入 等

(2) 現在の進捗報告及び今後の取組み

➤ 車から公共交通への『転換』を促す取組み(短期) ～公共交通の輸送力強化と基盤整備～

〈取組み概要〉

・JR豊肥本線を軸とした基幹交通及び二次交通の充実

① JR豊肥本線の増便、増結

R7年3月15日(土)から新ダイヤ(JR九州)

→朝通勤時間帯の**構成両数増、運転区間の延長**

	熊本発	平成発	南熊本発	新水前寺発	水前寺発	東海学園前発	竜田口発	武蔵塚発	光の森着	三里木着	原水着	肥後大津着
現行	8:02	8:07	8:09	8:11	8:13	8:16	8:19	8:25	8:28	光の森終着		
改正	8:02	8:07	8:09	8:11	8:13	8:16	8:19	8:25	8:28	8:30	8:36	8:44

	肥後大津発	原水発	三里木発	光の森発	武蔵塚発	竜田口発	東海学園前発	水前寺発	新水前寺発	南熊本発	平成発	熊本着
現行			光の森始発	8:35	8:38	8:43	8:45	8:48	8:50	8:54	8:56	9:00
改正	8:26	8:30	8:33	8:35	8:38	8:43	8:45	8:49	8:51	8:54	8:56	9:00

線区	始発駅	熊本駅 着時刻	現行	改正	両数 増減
			両数	両数	
豊肥本線(上り)	肥後大津	7:47	2	3	+1
	肥後大津	8:47	2	4	+2
豊肥本線(下り)	肥後大津	7:25	2	4	+2

② JR豊肥本線の駅施設等の整備改良

利用者増に伴うJR原水駅の**ホーム拡幅工事**や**改札口の改良**

(JR九州)

(ホームの一部を1.5倍拡幅) (出入口中央に改札口を配置)



JR新水前寺駅のバスベイ整備(熊本市)



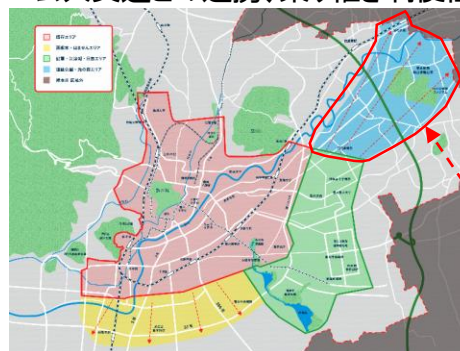
＜市電の混雑率状況＞(朝ピーク時の7時～9時)

- ・多くの乗車待ちが発生している市電利用客を分散
- ・**安全性**や**交通結節機能の向上**等、豊肥本線の需要増にも対応可能

③ シェアサイクルの利用促進

・チャリチャリ株式会社と包括連携協定を締結

- 1) **二次交通の活性化**
・自動車からの転換を促進、
- 2) **公共交通の維持・利用促進**
・公共交通との連携、乗り継ぎ利便性UP



運動公園・光の森エリアへの
拡大はR8年度を予定

※マップの内容は予定であり、変更となる可能性があります。

(2) 現在の進捗報告及び今後の取組み

➤ 車から公共交通への『転換』を促す取組み(短・中期)～公共交通の輸送力強化と基盤整備～

④ JR原水駅～セミコン通勤バス (短期) (次項地図 緑線)

実施主体: セミコン交通対策協議会事務局
(菊陽町、合志市、県北広域本部、セミコンパーク協議会)

○便数

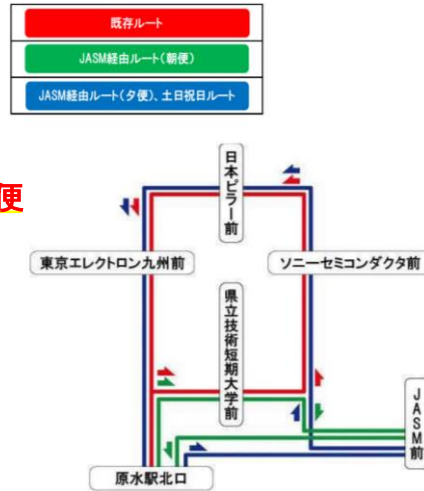
朝24便(うち8便 JASM経由)
夕20便(うち7便 JASM経由)

※3/15(土)のJRダイヤ改正に併せて増便
(朝便が2便増: 24便 ⇒ 26便)

○運賃

180円/片道

※現金、くまモンのICカード、
クレジットカードのタッチ決済 利用可



▼原水駅北口バス転回広場

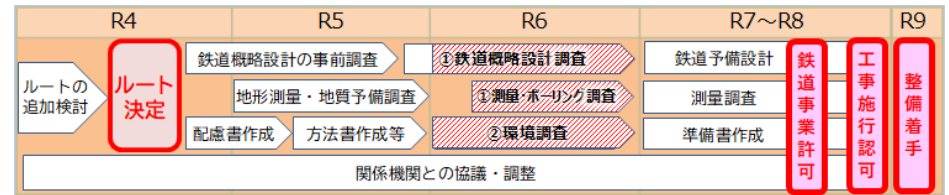


○原水駅北口バス転回広場(菊陽町)

バス利用者の安全確保、屋根付きの乗降場やトイレの
設置等による利便性向上

⑤ 空港アクセス鉄道整備 (中期)

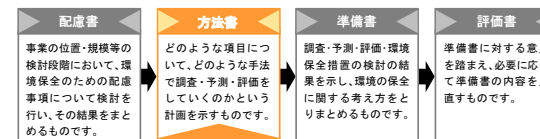
⇒鉄道事業化(鉄道事業認可等)に向けた鉄道概略設計
調査、測量・ボーリング調査、環境アセスメントに関する
環境調査等の検討・実施



○環境アセスメント



●環境影響評価に関する図書●



想定する鉄道の方式、鉄道構造

地域類型	市街地	水田耕作地等	台地(高台原台地)
地域環境	肥後大津駅 住宅地	水田耕作地 白川 集落	台地 空港駅
想定する鉄道の方式	地表式、嵩上式	地下式	地下式又は掘削式
想定する鉄道構造	地上駅(既設)	盛土、高架橋	トンネル 検討中

主な構造形式(イメージ)



○ボーリング調査



OUAV測量



(2) 現在の進捗報告及び今後の取組み

➤ 車から公共交通への『転換』を促す取組み(短期) ～公共交通の利便性向上及び利用促進～

〈現状・課題〉

- ・菊池南部地域の工業団地等への通勤アクセスは、セミコン通勤バス(図の緑線)を除くと、ほぼ自家用車である
- ・JRと熊本電鉄という二本の鉄道が通るメリットを生かすため、あらたな通勤バス路線を検討し、公共交通の利用促進を図る必要がある



〈取組み概要〉

■JR肥後大津駅発着 通勤バス実証(右上図 青線)

実施主体: 大津町渋滞対策プロジェクトチーム

(本田技研工業、構造計画研究所、産交バス、大津町、県北広域本部)

実証期間: 令和6年10月1日～おおむね3年間 [実施中]

○朝便(8便)・夕便(12便)、有料(180～250円/片道)

・国土交通省「共創・MaaS実証プロジェクト」採択事業



専用ラッピングした通勤バスのお披露目会

■御代志駅～セミコン 通勤バス実証(右上図 赤線)

実施主体: 合志市内通勤バス導入検討会

(熊本電気鉄道、合志市、県北広域本部)

実証期間: 令和7年2月3日～令和7年2月28日

○朝便(5便)・夕便(6便)、無料

・県予算にて実施



御代志駅～セミコン通勤バス

■通勤時の幹線道路利用推奨

交通渋滞に起因し、通勤車両が通学路など地元の生活道路や農業用道路を抜け道として利用することで、地元住民の生活に影響が出ていることから、可能な限り幹線道路を利用するとともに、交通ルール・マナーの遵守について、関係市町及び管内の企業等に対して協力依頼を行った。

(R6.10.17 依頼文書発出)

(2) 現在の進捗報告及び今後の取組み

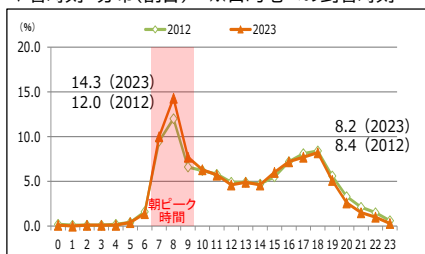
➤ ピーク時の交通を『分散』する取組み(短期) ～集中する“時間”の分散～

〈現状・課題〉

- ・熊本都市圏における交通は、朝ピーク時間帯(7時～9時)に集中
- ・朝ピーク時間帯の交通量を分散することで、交通渋滞の緩和が期待できる

※目的を持ってある地点からある地点へ移動する単位

▼着時刻※分布(割合) ※目的地への到着時刻



- ・熊本都市圏人口はほぼ横ばい
⇒ 総トリップ数は減少傾向

〈取組み効果※等〉

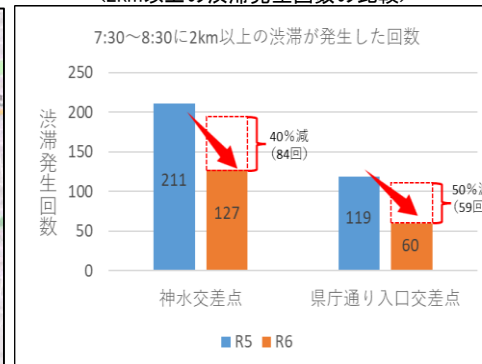
※前年比

- ・朝ピーク時間帯(7時半～8時半)の交通量が**約10%減少**
- ・2km以上の渋滞発生回数も**約40～50%減少**

〈県庁付近交差点の車両通過台数の変化〉



〈2km以上の渋滞発生回数の比較〉



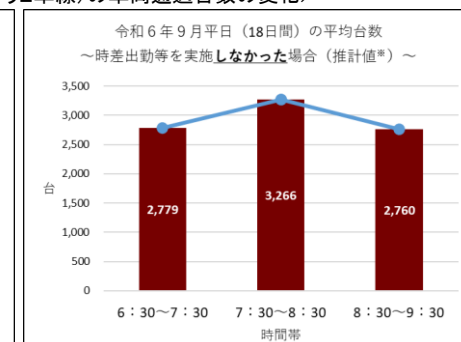
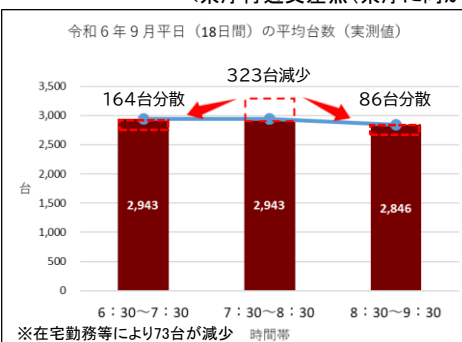
〈取組み概要〉

- 期 間** 令和6年9月2日(月)～30日(月)
- 内 容** 朝ピーク時間帯(7時半～8時半)を避けた時間に通勤
- 対 象** 熊本県・熊本市職員
- 実施人数** 1日平均4,086人



・朝ピーク時間帯の交通量が分散し“**平準化**”

〈県庁付近交差点(県庁に向かう2車線)の車両通過台数の変化〉



- ・時差出勤が渋滞緩和に効果があることを確認
- ・今後、民間や他の自治体等にも取組みを推進していく
⇒ **時差出勤の県民運動化**

(2) 現在の進捗報告及び今後の取組み

➤ ピーク時の交通を『分散』する取組み(短期) ～集中する“時間”の分散～

〈時差出勤の県民運動化〉

- ・令和7年度に時差出勤の取組みを熊本都市圏を中心に官民含めて**1万人規模で実施**
- ・**県民運動化**して、時差出勤の定着を図る

【オフピーク通勤】

7時30分～8時30分の朝ピーク時間帯を避けた通勤

- ・知事と大西熊本市長から経済界へ呼びかけを実施(1月5日商工会議所・経済同友会 新年祝賀会)



1万人の



オフピーク通勤!!

みんなで取り組む**“渋滞解消”**

渋滞知らずで快適通勤!
柔軟な働き方で仕事も暮らしも充実!

〈登録制度の検討〉

- ・官民が一体となった取組みの拡大を促すため、時差出勤やテレワーク等、交通渋滞解消に取り組む企業、団体、事業者等を**登録する制度を創設予定**
- ・登録企業の名称及び取組み内容等を県ホームページで公表し対外的にアピール
- ・令和7年度は200社の登録を目指す
- ・SDGsの趣旨にも沿った取組み
例) 熊本県SDGs登録制度の項目
 - ・環境に配慮した交通手段
 - ・新しい生活様式への対応



更なる取組みの拡大



(2) 現在の進捗報告及び今後の取組み

➤ ピーク時の交通を『分散』する取組み(短期) ～集中する“場所”の分散～

〈現状・課題〉

・セミコンテックパークとその周辺において、渋滞が慢性化している状況を踏まえ、令和4年度(2022年度)から、セミコンテックパーク内の企業等で構成するセミコンテックパーク協議会(代表3社)、県及び地元市町とで、年に数回程度、定期的な情報共有を行ってきた。

・こうした中で、新たな開発や工場建設が進んでいることを踏まえ、円滑な情報共有と、より実効性のある渋滞・交通安全対策の実施が必要となった。

〈取組み概要〉

・令和6年(2024年)8月から、企業・行政・工事業者による **新たな協議体を設立し、原則月1回**会議を開催。今年1月からは、「**セミコン交通対策協議会・企画会議**」(事務局:菊陽町商工振興課)として運用。

これまでの主な会議内容等

- ・**企業による自主的な通行規制の実施**
(通勤時の通行指定道路、通行禁止道路や通り抜け禁止エリアの設定)
- ・セミコンテックパーク周辺道路での夜間合同パトロールの実施
- ・渋滞の原因究明に向けた議論、分析
- ・工事車両の動向や道路施策、新たな交通規制の情報共有
- ・通勤バス実証事業の情報共有 など

官民連携による交通に関する協議体を立ち上げ

企業が中心となり渋滞対策・交通安全の取り組みを強化します

セミコンテックパークとその周辺では、新たな工場建設が進んでおり、企業・行政・工事業者による円滑な情報共有と交通安全対策を実施するため、次の団体で構成する新たな協議体を立ち上げました。

8月28日に行われた第1回会議では、各企業の交通渋滞対策や工事業者による交通安全対策、行政によるインフラ整備状況などの情報共有を行い、セミコンテックパーク内の夜間インフラ調査の実施を決定しました。

今後も、定期的に会議を開催し、工事状況や交通状況の情報共有を図り、関係者間で役割分担を行いながら、渋滞対策や交通安全に関する取り組みを強化していきます。



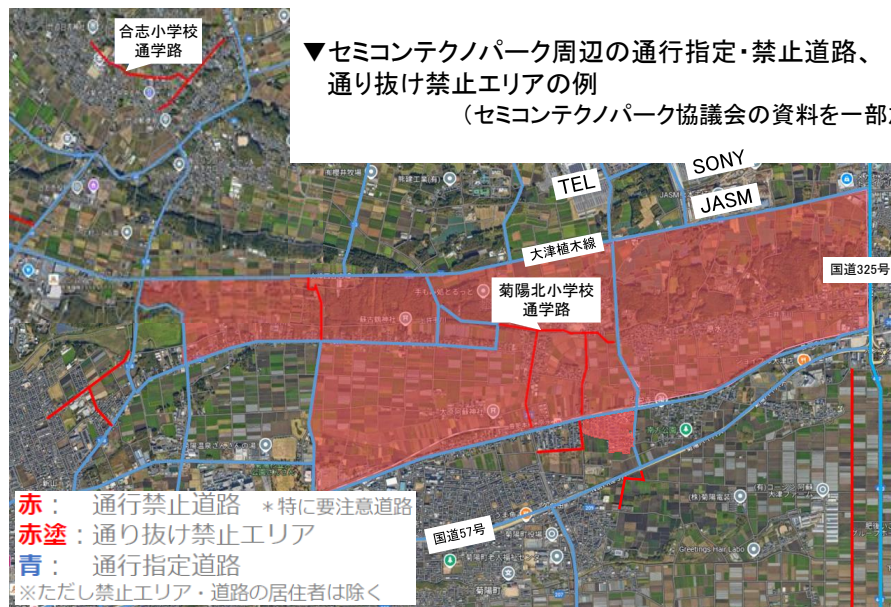
第1回会議の様子

構成団体

ソニーセミコンダクタマニュファクチャリング(株)、東京エレクトロン九州(株)、JASM(株)、本田技研工業(株)熊本製作所、工事業者、熊本県、熊本県警、菊陽町、合志市、大津町
※その他、会議のテーマによっては、交通事業者なども含む。

▲広報きくよう2024年11月号「企業・行政による新たな渋滞対策」より抜粋

▼セミコンテックパーク周辺の通行指定・禁止道路、通り抜け禁止エリアの例
(セミコンテックパーク協議会の資料を一部加工)



(3) 都市圏渋滞対策

➤ 周辺自治体を含めた都市圏の渋滞解消に向けた取組み

【渋滞対策の取組み方針（位置図）】

<エリア凡例>

●	県市連携（短期）
●	県市連携（中期）
●	国事業
●	熊本市事業
●	周辺市町事業
●	国事業
●	公共交通機関（JR・熊本電鉄）

凡例

●	高規格道路	●	県界
●	国道	●	市界
●	主要地方道	●	町界
●	一般国道	●	村界
●	市役所	●	公共交通機関（熊本電鉄）
●	郵便局	●	主要駅
●	主要河川	●	主要駅周辺
●	主要河川	●	主要駅周辺
●	主要河川	●	主要駅周辺

【セミコン周辺エリア】

企業進出や宅地開発による交通量の急増に対応

加速化対策（短期）：3年

- 交差点改良や信号制御の最適化（1.6箇所）
- 公共交通の利便性向上及び利用促進
- 公共交通の輸送力強化と基盤整備
- 時差出勤や在宅勤務等の取組みを推進

抜本対策

- 道路ネットワーク整備の着実な推進
- 公共交通の輸送力強化と基盤整備

【都市圏東部エリア】

空港と中心部のアクセス改善に向けた県・市連携施策の集中施行

第二空港線、国体道路東西線など

加速化対策（短期）：3年

- 交差点改良や信号制御の最適化（1.4箇所）
- 公共交通の利便性向上及び利用促進
- 公共交通の輸送力強化と基盤整備
- 時差出勤や在宅勤務等の取組みを推進
- BRT実証実験及びバス専用レーンの検討

宅地開発による交通の増加

抜本対策

- 道路ネットワーク整備の着実な推進
- 公共交通の輸送力強化と基盤整備

【都市圏南部エリア】

慢性的な渋滞に対応

加速化対策（短期）：3年

- 交差点改良や信号制御の最適化の検討

抜本対策

- 道路ネットワーク整備の着実な推進

<道路施策>

施策名	時期
■交差点改良や信号制御の最適化等の実施 <都市圏東部エリア> 14箇所 ・熊本益城大津線(3箇所) ・国道7箇所(7箇所) ・小池電田線(2箇所) ・国道443号(2箇所) ・熊本空港線(1箇所) <セミコン周辺エリア> 16箇所 ・熊本大津線(3箇所) ・大津植木線(2箇所) ・大津西合志線(2箇所) ・国道325号(1箇所) ・住吉熊本線(6箇所) ・幸川鹿本線(1箇所) ・託麻北部線(1箇所)	短期(3年)
■バスペイの整備による交通の円滑化 ・熊本菊陽線など(10箇所)	短期(3年)
■道路ネットワーク整備の着実な推進 ○高規格道路 ・中九州横断道路 ・熊本西環状道路(砂原工区) ○その他一般道路 ・国道3号 植木バイパス ・国道387号(須屋工区) ・国道443号(空港北工区) ・大津植木線(多車線化・合志IC付近道路) ・幸川鹿本線 ・(都)池田町花岡線 ・都市圏南部の渋滞対策の検討 ・(都)竹迫二ツノ線(合志市) ・(都)南方大人足線など<菊陽町> ・(都)三吉原北出口線など<大津町> ・(都)益城東西線など<益城町> ・(町)上島下六嘉線など<嘉島町> など	中期(10年)
■交差点改良や信号制御の最適化等の実施 ・熊本益城大津線(第二空港線) ・熊本空港線(第一空港線) など	中期(10年)
■車から自転車などへの転換 ○自転車・歩行者空間整備 ・熊本高森線(都)益城中央線) ・大津植木線(多車線化) など	中期(10年)
■広域道路ネットワークの構築 ・中九州横断道路 ・国道3号 植木バイパス ・熊本都市圏3連絡道路 など	長期

<公共交通施策>

施策名	時期	施策名	時期
公共交通利用促進キャンペーン 運転士不足対策 駅やバス停の改良 バス・電車無料の日 市電3両編成導入 利便性の高い料金施策 パーク・サイクル&ライドの拡大 シェアサイクルの利用エリア拡大 新水前寺バスベイ設置 バス路線網やダイヤの拡充 豊肥本線の増便・増結、駅の改良 従業員送迎バスの導入と共同運行 交通結節点整備及び二次交通の充実 「交通連合/運輸連合」*の実現 阿蘇くまもと空港アクセス鉄道整備 豊肥本線の速達性向上や複線化 バス優先/専用レーン 路線バスの輸送力向上	短期(3年)	BRT/LRTの活用 熊本市電の輸送能力向上や延伸 鉄道を軸とした新たな公共交通ネットワークの構築 市電延伸((仮称)東町線) 自動運転バスの社会実装 広域的なバス路線や新たな交通モードの導入検討 持続可能な公共交通の維持	中期(4~10年)
その他施策 時差出勤・在宅勤務等の取組みを推進(市町村での実施、実施企業の宣言や認証制度等) 既存道路ネットワークの利活用	短期(3年)	熊本都市圏における主要渋滞箇所* (R6.12月時点)	計

その他：交通規制や既存道路の有効活用による渋滞対策などの、方向性が具体化していない対策についても、引き続き検討を深め、実施可能なものから取組みを推進していく。

(参考) 渋滞解消推進本部に関連する予算について

熊本県渋滞解消推進本部における主な取組み

【交通の利便性向上】

(R7.2月補正) 予算額82億19百万円
(R7当初) 予算額53億79百万円

- 熊本都市圏の渋滞解消に向け、庁内関係部局が一体となって課題解決に向けた取組みを迅速かつ強力に推進するため、令和6年度に「熊本県渋滞解消推進本部」を設置
- 道路施策と公共交通施策における短期・中期・長期の対策を効率的かつ段階的に推進する

渋滞解消に向けて、「車1割削減、渋滞半減、公共交通2倍」をキーワードに、道路施策と公共交通施策の連携により、エリア毎の特性に応じた公共交通ネットワーク（道路空間再構築含む）の強化を図る

<道路施策> ~車の『流れ』を良くする取組み~

加速化対策（短期）：～3年

交差点改良や信号制御の最適化など

(R7当初)7億79百万円

- 交差点改良や信号制御の最適化等の実施
<都市圏東部エリア> 熊本益城大津線 他
<セミコン周辺エリア> 大津植木線 他
- バスペイの整備による交通の円滑化
・熊本菊陽線 他

抜本対策（中期）：4～10年

(R7.2月補正) 82億19百万円

主要渋滞箇所226箇所のうち約8.0箇所の改善に向け取組みを強力に推進

(R7当初) 41億 9百万円

- 道路ネットワーク整備の着実な推進
・中九州横断道路、国道443号 他
- 交差点改良や信号制御の最適化等の実施
・熊本空港線 他
- 車から自転車などへの転換
・自転車・歩行者空間の整備

抜本対策（長期）：11年～

広域道路ネットワークの構築

(R7当初) 2億 8百万円

- ・熊本都市圏3連絡道路など

<公共交通施策> ~車から公共交通への『転換』を促す取組み~

加速化対策（短期）：～3年

路線バス年間利用者数

(R7当初) 2百万円

・現状(2023年) 2,449万人/年 ⇒目標(2027年) 3,000万人/年

- 公共交通の利便性向上及び利用促進
・利用促進キャンペーン、運転士不足対策など
- 公共交通の輸送力強化と基盤整備
・バス路線網やダイヤの拡充、肥本線の増便・増結や駅施設の改良整備など

抜本対策（中期）：4～10年

公共交通分担率※を2倍にする

(R7当初)2億73百万円

- 公共交通の輸送力強化と基盤整備
・「交通連合」の実現、空港アクセス鉄道整備など

抜本対策（長期）

持続可能な公共交通の維持

<その他施策> ~ピーク時の交通を『分散』する取組み~

加速化対策（短期）：～3年

(R7当初) 8百万円

・1年以内に1万人規模の取組み ・時差出勤等に取り組む企業200社

- 集中する“時間”の分散
・官公庁や民間企業の時差出勤・在宅勤務を推進 ※実施企業の宣言や認定制度等
- 集中する“場所”の分散
・既存道路ネットワークの利活用



I-(2)-⑧ 渋滞・交通アクセス対策の推進 **拡**

【国の経済対策への対応】

2月補正

予算額62億30百万円(1百万円)

地域道路改築費(TSMC関連) [道路整備課]

- 経済安全保障の確立及び国内生産基盤の強化につながる半導体関連企業の集積に関連するインフラ整備のうち、道路整備事業について国の経済対策を活用し取組みを加速化する

<現状・課題>

- ・ JASMが進出したセミコンテクノパーク周辺は、従前より、通勤時間帯を中心に、激しい交通渋滞が発生
- ・ 令和6年度に立ち上げた渋滞解消推進本部の中で、渋滞解消に向けた短期・中期・長期に分けて対応策を整理し、取組みを進めている
- ・ 上記対応策の中期的な取組みの一環として、渋滞解消に向けて県道大津植木線を始め、優先度の高いセミコンテクノパーク周辺路線の選定、集中整備を進めてきたが、更なる企業集積の進展が見込まれる中で、取組みの加速化が必要

短期・中期・長期の対応策

※渋滞解消推進本部資料から引用

短期	信号制御の高度化等のソフト対策や右折レーン左折レーン等の延伸・設置など渋滞緩和に即効性のあるハード対策など(既設ストックの有効活用)
中期	都市計画道路等の整備・公共交通ネットワークの形成(空港アクセス鉄道の整備、JR豊肥本線の機能強化等)など
長期	熊本都市圏3連絡道路等の新たな道路ネットワーク整備(10分・20分構想)
その他	パークアンドライドの実施、通勤バスの利用などの啓発(継続して行う取組み)

<事業概要>

- 全体事業費：62億30百万円
- 事業内容：大津植木線多車線化、国道387号拡幅工事 等、全7カ所
- 負担割合：国5.94/10 新しい地方経済・生活環境創生交付金
(地域産業構造転換インフラ整備推進交付金)、県4.06/10
- 実施主体：県 ○ 事業期間：令和5年度～

<イメージ図>



I-(3)-① 防災・減災、国土強靱化等の推進(経済対策分)

2月補正

予算額266億97百万円(4億58百万円)

[土木部、農林水産部]

【国の経済対策への対応】

○ 流域治水の推進や道路ネットワーク機能強化、インフラ老朽化対策の推進、農林水産施設等の防災・減災などの事業について、国の経済対策を活用して取り組む

<主要事業概要>

◆自然災害からの復旧・復興の加速

47億22百万円

<地震>

・街路整備事業(熊本高森線4車線化)、土地区画整理事業(益城町) 19億89百万円

<豪雨>

- ・砂防激甚災害対策特別緊急事業費(砂防堰堤等の整備) 14億67百万円
- ・治山事業・治山激甚災害対策特別緊急事業(荒廃山地の復旧等) 12億46百万円
- ・土地区画整理事業(人吉市青井地区) 20百万円



熊本高森線(益城町)の歩道整備



区画整理(益城町)



土地区画整理事業 施行地区
区画整理(人吉市青井地区)



山腹工による対策箇所
(球磨村)

<老朽化対策>

- ・道路施設保全改築費(道路、橋りょう) 23億63百万円
- ・砂防メンテナンス事業費(砂防施設) 6億91百万円
- ・河川改修事業費等(河川施設) 1億98百万円
- ・港湾整備事業等(港湾・海岸施設) 1億72百万円(ほか)



【道路】国道324号での越波対策工



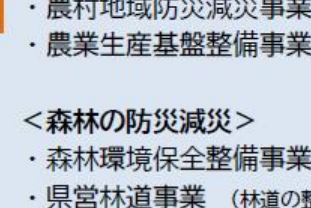
【砂防】砂防堰堤(球磨村)の補修



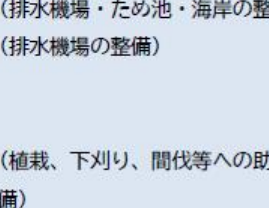
【港湾】可動橋(長洲港)の補修

<農地・農業用施設の防災減災>

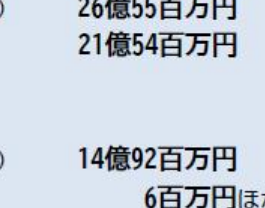
- ・農村地域防災減災事業(排水機場・ため池・海岸の整備) 26億55百万円
- ・農業生産基盤整備事業(排水機場の整備) 21億54百万円



【農地】竜北排水機場(八代郡氷川町)



【森林】人工造林(植栽)の状況



【漁港】塩屋漁港(熊本市)での浚渫

◆防災・減災、国土強靱化の推進

219億75百万円

<流域治水>

- ・河川改修事業費(河川の改良) 28億65百万円
- ・通常砂防、火山砂防事業費(砂防施設の整備) 16億81百万円

<道路ネットワーク>

- ・地域道路改築費(国道、県道の整備) 22億37百万円
- ・道路改築費(熊本天草幹線道路の整備) 16億59百万円(ほか)



【流域治水】潤川(宇土市)の整備



【道路ネットワーク】熊本天草幹線道路(本渡道路)の整備

<森林の防災減災>

- ・森林環境保全整備事業(植栽、下刈り、間伐等への助成) 14億92百万円
- ・県営林道事業(林道の整備) 6百万円(ほか)

<漁港・漁港海岸の防災減災>

- ・水産物供給基盤機能保全事業費(機能保全工事等) 4億60百万円(ほか)



【農地】竜北排水機場(八代郡氷川町)



【森林】人工造林(植栽)の状況



【漁港】塩屋漁港(熊本市)での浚渫

(参考) 令和7年度当初予算について

熊本県渋滞解消推進本部における主な取組み

【交通の利便性向上】

予算額53億79百万円（8億5百万円）

<道路施策> 加速化対策（短期） 計 7億79百万円

- 新** ①単県道路改築事業（改良）【道路整備課】 3億34百万円
 熊本都市圏の慢性的な交通渋滞の解消に向けた交差点改良などの短期対策を実施
- 新** ②単県交通安全（新時代・渋滞対策）事業【道路保全課】 1億7百万円
 熊本都市圏の慢性的な交通渋滞の解消に向けたバスバイ設置などの短期対策を実施
- ③熊本都市圏渋滞対策事業【県警本部】 2億95百万円
 交差点処理能力を向上するため、主要交差点の信号機周辺を中心に車両感知器を設置し、得られた方向別交通量をもとに、信号制御の見直しを実施
- ④熊本都市圏渋滞対策事業【都市計画課】 43百万円
 都市圏の交通渋滞の解消に向けた渋滞対策の検討などを実施

<道路施策> 抜本対策（中期） 計 41億9百万円

- ①地域道路改築費【道路整備課】 12億23百万円
 主要渋滞箇所約80箇所の改善に向け、国、県、熊本市で連携した、道路ネットワーク整備の推進
- ②街路整備事業費【都市計画課】 14億48百万円
 交通の円滑化等に資する「県道熊本高森線（l=3.2km区間）の4車線化」の実施
- ③土地区画整理事業（道路区画）【都市計画課】 14億38百万円
 交通の円滑化等に資する「県道熊本高森線（l=0.6km区間）の4車線化」の実施

<公共交通施策> 加速化対策（短期） 計 2百万円

- ①菊池南部地域公共交通利用促進事業【交通政策課】 2百万円
 菊池南部地域における公共交通利用促進に資する取組みへの補助を実施

<公共交通施策> 抜本対策（中期） 計 2億73百万円

- ①阿蘇くまもと空港アクセス鉄道整備調査検討事業【空港アクセス鉄道整備推進課】 2億73百万円
 阿蘇くまもと空港アクセス鉄道の事業化に向けた調査・検討を実施

<その他施策> 加速化対策（短期） 計 8百万円

- 新** ①時差出勤先進県くまもと推進事業【交通政策課】 8百万円
 県・市で実施している時差出勤を県内全域に波及させるための調査等を実施

<道路施策> 抜本対策（長期） 計 2億8百万円

- ①道路計画調査費、単県道路調査費【道路整備課】 2億8百万円
 熊本都市圏3連絡道路の早期実現に向けて、熊本市と連携した調査・道路概略検討等を実施